公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第六回　理事会　議事録

開 催 日：令和元年６月２５日（火）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２３時３０分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　板元　幸仁　　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　田上　俊介　　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

本日は、お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。また、オブザーバーの皆様お越し頂きありがとうございます。初めて見る理事会になりますが委員長の答弁等聞いて勉強してもらえればと思います。話変わりまして今月は大会も続きましてＪＣ運動に触れる機会も多々ありましたが、霧島ＪＣ以外の事業を見ることによって多くの学びもあったかと思います。今週末にはサッカーの大会もあります。こちらは友情を育む機会となっております、お時間許します方は参加お願いします。本日、観光協会の１０周年記念事業に参加して参りました。じゃらんの九州ネットワークのマネジャーの方より主に観光についての話ではありますが、その中で継続的なまちづくりの中で主体的に活動する若者の力が必要になりそれを支える行政や企業のネットワークやパートナーシップが最善な方法ではないかという話であり、やろうとしていることはまちがっていないと思います。今回、期限を守って上程頂いておりますので事前指摘、それに対する修正も出来ているかと思います。２３：００にしっかりと終われるように答弁をされる方も端的に想いを伝えて頂けましたらと思います。本日、井上監事が体調不良にて欠席となっております。仕事にしてもＪＣ活動にしても体が資本となります。体調管理には気を付けて頂けましたらと思います。

1. 直前理事長挨拶

遅刻のため割愛

1. 顧問挨拶

遅刻のため割愛

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：鈴吉副理事長、重野委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | △ | 竹下圭一郎 | △ | 井上正樹 | × | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | 〇 |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で２名出席により定足数を充たしていることを確認した。

オブザーバー　荒殿くん、前田くん、松元くん

１３．議題並びに資料の確認

審議事項５件　　協議事項８件　　連絡・報告事項２件　となっております。

１４．議事録承認の件

田上　　：軽微な修正をお願いしまして修正を確認したことを報告させて頂きます。

盛田　　：軽微な修正を指摘し、修正を確認したことを報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：正会員承認（徳重　孝二君）の件

木野田　：詳細は委員長より説明致します。

板元　　：お二人ともスケジュールはクリア頂き、意思の確認をさせて頂いております。

南郷　　：会費、互助会費の請求書について確認をしまして金額並びに振込先に関しても不備なきことを報告いたします。

東井上　：ネットにあがった個人情報は閲覧での対応ではないでしょうか？

前田(大)：今年度はセキリュティーを強化したうえで対応しております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認について（松元　貴洋君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

審議事項３：仮会員承認の修正議案（前田　裕貴）の件

木野田　：期間内にスケジュールをクリアできず修正議案を上程させて頂いております。

板元　　：本日２名修正議案を出させて頂いております。高橋くんは理事会、前田くんは大会への参加が出来ておりませんが今月末の事業へ参加できる運びとなっております。

南郷　　：請求書で細かい点でありますが季語が６月はじめのものとなるので修正をお願いします。

板元　　：時下ますますという表現に修正させてください。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

審議事項４仮会員承認の修正議案（高橋　理一君）の件

　　　　　審議

全会一致で審議可決

藏元　　：今年は拡大が順調なので委員会だけが背負うことなく理事役員が率先してフォローして頂けましたらと思います。

出席確認：直前理事長　前田　数馬君

直前理事長　挨拶

前田　数馬君

前田　　：仕事の都合で遅参いたしました、申し訳ありません。もう７月となり次年度の体制も発足していく時期となりました。まずは本年度が経験と気付きの中で１２月まで駆け抜けることができるように、より団結して残り半分をしっかりと考えて頂けましたらと思います。委員長さんは準備や委員会や議案に追われ大変な時期かと思いますが新しい会員が増える中で理事役員の立ち振る舞いでＪＣマンの姿を見せてもらえましたらと思います。自分もシニアという立場で一歩引いてブロック大会も見させて頂いて参加者も多く盛り上がっていて、うらやましいなと思うところでした。この盛り上がりを藏元理事長の１２月まで冷めることなく邁進頂けましたらと思います。

審議事項５：地域の発展に貢献できるひとづくり事業計画書並びに予算（案）の件

鈴吉　　：事前配信させて頂きご指摘頂き対応したうえでの審議案件となっております。

重野　　：３０件ほどの事前指摘を頂きましたがそれぞれ対応しております。内容に変更はありません。よろしくお願い致します。

南郷　　：予算につきまして事前指摘は対応頂いております。見積もりも原本確認できております。

常盤　　：事前指摘は対応頂いております。作成日が明日になっていますので修正してください。また情熱的に説明とありますがどの様な説明ですか？

重野　　：参加促進には情熱が必要と思っております。まずは委員長に落とし込みそこから広げていければと思っております。

常盤　　：参加促進の手法かと思いますが具体的にどの様な意味ですか？

重野　　：資料はないのですが、情熱的に波及できればと思っております。

常盤　　：委員長の色だとは思うのですが、具体的に記載しないと検証もできませんので、想いはわかるのですが今後の事業では気を付けてください。ここに記載してないものはしてはいけない訳ではないので当日まで工夫してもらえましたらと思います。

前田　　：目的達成の部分で、率先して行動できる人財とあるのですが、オブザーバーを連れてくる方法はどの様なイメージでいますか？

重野　　：６月例会でやりましたが、社業や家庭で活かすことができる内容であることを伝えて頂けましたらと思います。

前田　　：６月例会はさわりの部分をやっただけなので、キャッチフレーズなりを持ってないと文章では伝えられない部分なので、そこまで考えてもらえたら更に広がりを持たせることが出来ると思います。

重野　　：参加呼びかけまでにキャッチフレーズを考えておきたいと思います。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

重野　　：ご審議ありがとうございます。６月例会でやらせて頂き当委員会の若宮君も会社で自然と社会人基礎力という言葉が出ているところであります。当日まで再度講師打ち合わせを経てよりよいものにしたいと思っておりますのでご期待ください。

田上　　：休憩動議

セコンド　橋　板元

２１：５０まで休憩となる。

協議事項１：誰もが夢を描けるまちづくり事業計画書並びに予算（案）について

田上　　：今回３回目ですが協議で上程させて頂いたこと並びに事業内容が大きく変更となりこの場を借りて謝罪させて頂きたいと思います。申し訳ありませんでした。背景目的は変更なく事業内容として音楽フェスの開催としておりますが、ただフェスをするだけでなく若い世代の人たちとのパートナーシップをとって運営し、事業後に検証することでＪＣだけではできないことも出来るようになると思いますし、この地域に対して提言をして次に繋げていきたいと考えております。

盛田　　：内容を大きく変更させて頂いております。臨時正副、事前配信と対応させて頂いております。

板元　　：実施までのスケジュールで１０月５日の振り返りの内容について教えてください。

盛田　　：ただのイベントとしてではなく継続的な仕組みを作るためにアンケート調査と聞き取りをメインに考えております。

板元　　：振り返りをして目的に沿うような参画意識を高める仕組み作りをしていく方向に繋げるとは思うのですが、若い世代と今後どのようにしていきたいかイメージがありましたら教えてください。

盛田　　：今年度で若い世代に運営してもらうのですが、今後続いていけるようにしたいと思います。

板元　　：昨年のまちづくり事業が独立してＫＡＡＢＡという組織が出来て動いているように若い世代が集う組織が出来ればいいなと思いますので、若い世代がこの地域で色々なことができる仕組みが作れたら一番いいのかなと思います。あと、実施までのスケジュールで事業当日の上が８月となっておりますので９月２７日の間違いかなと思いますので修正をお願いします。

鈴吉　　：実施組織についてですが、全体事業とする中で他の委員会メンバーも記載ありますが、当日の手伝いだけでしょうか？それとも計画段階からの関わるという認識でよろしかったでしょうか？

盛田　　：この件に関しては、委員会が主導するのですが事前に説明の上、実施前から協力を頂きたいと考えております。

鈴吉　　：勿論、全体で実施する事業ですが、それぞれの委員会で事業などありますので委員長同士で連絡を取り合って連携を取れるような形で事業成功に導いて頂けましたらと思います。

盛田　　：改めてご協力のお願いをさせて頂こうと思います。

木野田　：対外目的の共感の輪とは、どの様なイメージでしょうか？

盛田　　：講習を経て学んだ若い世代の人たちと共に社会参加者意識を参加頂いた市民の方々に広めていきたいと考えております。

木野田　：若い世代の人たちと共感をするというのは何を共感するのでしょうか？

盛田　　：共感については、まちづくりの必要性を再確認して共感頂くと考えております。

木野田　：共感する部分については色々とありますので、今一度、勉強して頂き委員長の中で落とし込んで頂きたいと思います。もう一点ですが、社会参画意識の向上に繋げるとあるのですが、その先のイメージがありますか？

盛田　　：参画意識を高めて来年以降も継続していけるような設えをしていきたいと思います。

南郷　　：質問ですが、対内目的の中で継続的なまちづくりとありますが、委員長の思う継続的なまちづくりとはフェスを継続することなのか、それともＳＤＧｓを基にニーズにあったものを続けるのか教えてください。

盛田　　：このイベントが継続的に続いていけばと思います。

南郷　　：そうなると目的達成のための手法のところで、誰もが夢を描けるまち×ＳＤＧｓの中でニーズを捉えた事業が必要であると思うのですが、今回の音楽にニーズがあるという根拠があれば教えてください。

盛田　　：音楽という題材にした点については若い世代も参画しやすいと考えて設定させて頂きました。ニーズについては調査不足であります。

南郷　　：手法として音楽を用いた根拠を計画書に盛り込みましたら更に良いものになるのかなと思います。

田上　　：ＳＤＧｓの部分で今後そのどのようにするのかという意見もありまして補足させて頂きます。ＳＤＧｓの捉え方や解釈は色々あると思うのですが、世界共通の目標を色々な方と協力して達成するということが大切なだと思っております。その中で、今回若い世代と霧島ＪＣがパートナーシップを組んで目的を達成すると考えております。その中で音楽という手法を用いた理由は、普段まちづくりに関わりがない方にも参加頂きたく音楽フェスという形をとらせてもらったところであります。ですので、必ず来年も同じものをするという考えではなくＳＤＧｓという世界目標をひとつでも達成できるように仕組みづくりをさせて頂こうと考えております。

南郷　　：今の意見を議案に盛り込んでいくような形になるのでしょうか？

田上　　：仕組み作りについての参考資料で追加します。

橋　　　：規模の大きい事業になると思う中で、対外対内目的に沿ってセクションごとに誰に何を伝えてどうなるのかを参考資料等で示すことが出来れば良いのかなと思います。個人的には内容よりも学生が集うことができれば、それだけでも良い事業となると思いますので人集めに関して、自分も実施組織に入っておりますので尽力したいと考えております。

盛田　　：どの項目で、何を伝えるのかについては、もう一度資料として追加したいと思います。

重野　　：運営に参加した若い世代の人たちは、参画意識の醸造は出来ると思いますが、フェスに来てくれた人たちへまちづくりの重要性など共感の輪を広げる方法はどの様な形で考えていますか？

盛田　　：まだ打ち合わせが出来ていないところではありますが、このまちを盛り上げていくところでイベントを考えておりますので、出演者の方々と話をさせて頂こうと思います。

重野　　：面白そうな事業と思いますので、しっかりスケジュール感をもって進めて頂けましたらと思います。

東井上　：中身については、個人的に委員長から熱い想いも聞いていますので特に何もありませんが、議案の作り方についての意見です。まず、事前指摘の部分が下に記載がされてないので、どんな意見が出ているのかわかりません。また、審議資料も理事長名の間違いなど精査不足が目立ちます。議案はしっかりと体裁を整えて頂き納得できる資料を上程頂けましたら想いも伝わるのかなと思います。あと解釈の仕方ですがＳＤＧｓについてはグローバルなパートナーシップと言いますか国と国の協力関係について促進している内容ですので、ただパートナーシップを結ぶだけでは、ＳＤＧｓとの繋がりは弱いかと個人的には思いました。

盛田　　：パートナーシップの解釈につきましては、もう一度詮索させて頂きます。資料に関しましては精査のうえで意見等の記載をさせて頂きます。

鈴吉　　：執行役員の意見と類似するのですが、学生が４８名となっておりますが募集の仕方が個人の申し込みとなっておりますが、今回講習会や話し合いやイベント当日など集まる機会が多々あるかと思いますので学校単位で集めて連絡体制を構築された方が良いかと思います。あと、募集要綱の日程が前回までと変わりなく８月で終了する様な計画となっておりますので修正をお願いします。

盛田　　：募集の仕方や各学校にリーダーを配置するなど検討させて頂こうと思います。

常盤　　：３点ほどあります。まず、音楽フェスをする前提で子供たちを集めるような形ですが、本来は順番的に子供たちを集めて、そこで音楽という意見が出てくれば自発的な行動であるわけで、若い世代がやる意味も出てくると思います。来年度以降に同じ手法でと考えた時に、これでやってねという形がやらされている感じにならないように本年の動かし方については重々注意して頂けましたらと思います。次に予算についてですが、広告収入を２０万あげていますが、具体的な根拠を教えてください。３つ目は、提言をするとありますが、近年何が大事であるかを言うだけの感じが多いです。具体的にどのように動かすのかまで提示しないと役所も動かせないと思いますので、議員を巻き込むなど、具体的に考えて頂けましたらと思います。あと、姶良市湧水町に提言するにあたって今回霧島市を題材に進めるなかで、姶良市湧水町のメリットも考えていかなければいけないと思います。

盛田　　：今回は、霧島市がメインとなっておりますが、参加者に２市１町から募ってと考えております。提言に関しては初めてのことで不明な点も多々ありますので副理事長に相談の上構築したいと思います。広告収入についてですが、会場費はかからないのですが講師や出演者について大きくなってしまい予算を計上しております。来年以降、先にテーマを与えて自主的に動くことができれば成功かなと考えておりますので、若い世代と我々の想いが繋がるように考えていきます。

常盤　　：提言については、正直わからない部分もあるかと思いますので正副や執行部の方も含めて検討頂けましたらと思います。協賛については、２０万組んでいるだけですので、どの様に集めるのか、出す人にどの様なメリットがあるのかまで考えて記載してください。

盛田　　：出して頂ける人にメリットがある様にしたいと思います。

田上　　：協賛については、事業規模が大きくなっているところで予算付けをしているところですが、本会計の方で使用できる金額があるようでしたら調整頂けましたらありがたいと思っているところであります。提言については、場所は一カ所となるのですが、提言する姶良市・湧水町について参加者や演者・出店者についてお願いしていければと思っております。

前田　　：今一度、整理して欲しいかと思います。手法の中にキーワードが散乱しているように思います。ＳＤＧｓや音楽フェス、提言があって今後のところは郷土愛が必要ということですが、委員長として６カ月リサーチしたなかで一番重要なことはなんですか？

盛田　　：若い人に関わって頂くなかで講習会も大事なのですが、自分たちも一歩踏み出せばまちづくりが出来ると言いますか、若い世代の自発的に行動が醸造されればと考えております。

前田　　：この地域に住み暮らす若い世代が、率先して自分たちで変えていこうという気持ちになることが、誰もが夢を描けるまちというゴールを描いてこの手法になってきていると思うのですが、半年間リサーチしてしっかりとした想いがある中で、ゴールに繋がる議案となっていないと思います。なぜＳＤＧｓを教えて、なぜ音楽フェスをして、どの様な流れで地域に提言することで子供たちが楽しくまちづくりをしてこれからの未来、率先してまちづくりを描いていけるという繋がりが見えてこないです。子供たちが自分たちの力でまちづくりができるようにやってあげたいという筋道がぶれていると思います。色々な意見が出るなかで根本的な夢を描けるまちって率先してまちづくり出来ることで達成できるという部分は強く持たないといけないと思う。最終的なゴールにむかって、ここだけは譲れないという部分を曲げないようにしないと無駄な資料が多いと思う。時間がない中で大変と思いますが仕事も大事だけど、地域が発展することで家業も発展していくという考えを持った方が良いと思う。子供が地域に残ることで人を確保することができるかもしれない。だからまちづくりをするということを考えて欲しい。そして来年度以降、ＪＣでなく子供たちに自発的にして欲しいのであれば１日でも時間を作って学校にリサーチに行って子供たちの生の意見を聞かないといけないです。高校生は学期末の時期なので来週しかチャンスはないと思います。これで本当に良いのかについては、子供たちの意見が反映されていないと判断できないです。あとは、対内目的があるので会員はどの様な関わり方をするのかは考えないといけないです。対外に関しては明らかにリサーチ不足です。子供たちの意見がのってくることで、今後子供たちが率先してまちづくりできるのだろうなと思える議案になるので次回、そこをしっかりと落とし込んできてください。

盛田　　：想いと言いますかゴールについては、委員長を受けた当初から言われていたことでありますので、しっかりと向き合っているつもりでいましたが、まだまだ足りないところでありますので精進して参りたいと思います。

常盤　　：このフェスは何名の集客を考えておりますか？

盛田　　：２００名を想定しております。

常盤　　：対外対象者は、若い世代ではあるとは思うのですが会員の会費を７０万使用する事業で、２００人であれば費用対効果が低いのかなと思いますので検討してください。

盛田　　：再度、費用対効果を含め検討したいと思います。

前田(大)：答弁されるなかで、若い人たちから意見を出して欲しいという発言があるのですが、もっと議案に向き合って欲しいと思います。議案を隅から隅まで見てもらわないと他の理事役員も真剣に向き合って意見をしていますので共感の輪は生まれないと思います。タイトなスケジュールになってきているとは思いますが、自信がない部分や議案に記載されているのに答弁できていないところもあります。もう少し議案に向き合う姿勢と盛田委員長が一歩踏み出すことが大事かと思います。執行部の方でもサポートはしますのでお願します。

藏元　　：盛田委員長にまちづくりをして欲しかった理由は、今後仕事やＪＣ運動をする中で生きてくるような色々な人と接して欲しいと思い期待を込めてまちづくりの委員長として任命しております。責任は自分が取りますので、もっとおもいっきりやって欲しいと思います。今のままでは、やらされているだけになっていると思います。もっとワクワクするように共感の輪が得られるようにやって欲しいと思います。

盛田　　：ありがとうございます。

前田(大)：以上で、誰もが夢を描けるまちづくり事業計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

南郷　　：休憩動議

セコンド　木野田　鈴吉

２２：５０まで休憩となる。

協議事項２：２０１９年度　新入会員オリエンテーション計画書並びに予算（案）について

木野田　：２回目となります。正副指摘を青字で対応しております。

板元　　：ＪＣシードを基に進めていくなかで、データを九州地区より頂いたのですがデータ量が大きすぎたため参考から削除しております。また、前回オリエンテーションまでＪＣシードを見せない理由について指摘がありました点につきましては、７月、８月、９月の委員会の時間を使用して事前にＪＣシードを見る機会、軽いオリエンテーションを実施しようと思っております。

南郷　　：ＮＥＷ　ＪＡＹＣＥＥに関しては事務局費にて対応したいと思いますので予算から削除して頂けましたらと思います。

板元　　：削除させて頂きます。

藏元　　：予算が１０，０００円しか組まれておりませんので、例年事務局費の図書費で計上していると思いますので、その様に対応頂けましたらと思います。

常盤　　：仮会員も含めて４６名会場に入りますか？１０，０００円の予算計上がされておりますので会場の設えも考えて勉強ができるような環境を検討頂けましたらと思います。

板元　　：１度目に会場の再検討という意見もあったのですが、ＪＣ会館の存在を知ってもらうことも含めてＪＣ会館とさせて頂いていたのですが、再度検討したいと思います。

常盤　　：委員会の方で、しっかり考えたうえで設定であれば問題ないのですが会場図からそこらへんが見えないので、小テストをするのであれば机がいるのではないか、パワーポイントを使用するなかで見えやすい環境にあるのか等、考えて頂けましたらと思います。

板元　　：委員会としてはＪＣ会館でしたいという想いもありますので、資料などを精査のうえ検討したいと思います。

重野　　：参加促進についてですが、新入会員だけではなく現役会員も参加できるような工夫を考えてもらえたらと思います。

板元　　：今のところ新入会員に重きを置いておりましたので、会員に対しての参加促進も再度一緒に考えていければと思います。

鈴吉　　：予備日は設けないのでしょうか？

板元　　：実施日以降に増えた際は、再度議案を上程のうえ第２回オリエンテーションを実施しようと考えております。

鈴吉　　：仮に当日出ることができない人がいた時はどうしますか？

板元　　：現時点では、今の新入会員に関しては全員スケジュールを押さえているのですが、そこも踏まえて再度検討したいと思います。

東井上　：例年と比べて時間が短くなっておりますが、大丈夫でしょうか？

板元　　：議案の修正ミスでしたが、次第進行表の方で２１：００終了とさせて頂いております。事前にＪＣシードを使用して説明会をするため、理念通りのステップ１～４まで通るのですが短縮して進められると考えております。

東井上　：シナリオの時間が、ずれているかと思いますので修正をお願いします。

田上　　：工夫と期待される効果の事前準備の工夫①ですが、７月～９月の事前説明会に参加出来なかった人への対応はどのように考えておりますでしょうか？

板元　　：新入会員だけではなく全会員にＪＣシードのデータを配信しようと考えております。新入会員並びに仮会員に関しましてはデータの配信と委員会での事前説明と２重での対応を考えております。

田上　　：細切れになっているので、ショートＶＥＲを作るなどの工夫をして頂けましたらと思います。

前田　　：一点ですが、鈴吉副理事長からもありましたが、スケジュールは押さえて頂いていますが仕事などで急遽欠席になるという可能性もあります。先ほどの答弁で再度議案を作ってフォローはしますということではありましたが、今回予算もかからない計画ではありますので、出席できなかった人のフォローとして各月でやる予定や予備日を記載していればよいのではないのでしょうか？牟田君のプログラムについては対策を考えないといけないと思うのですが、全員参加されれば予備日として実施しなければ良いだけなので、フォローの予備日を設けてプログラムを追加するなどの工夫をすればよいと思います。

板元　　：ありがとうございます。予備日の設定を検討しながら参加出来なかった人へのフォローも工夫として記載したいと思います。

藏元　　：今、意見等ありましたが今回拡大がうまくいっており人数が多い状況で日程の調整に関しては難しい部分も出てくるかと思いますので、無理のないようにして頂けましたらと思います。あと、事前にＪＣシードを見せるとありましたが、出方を増やすことなく合同委員会を実施する等の横の連携を図って頂けましたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度新入会員オリエンテーション計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

出席者確認

顧問　竹下圭一郎くん

役員５名中４名出席となる。

顧問挨拶

竹下圭一郎くん

竹下　　：まずは６月例会が無事開催されましたことおめでとうございます。今回の議案も目を通させてもらいましたが、正副の揉み方が足りないから本来の目的を見失っているのかなと思います。青年会議所は何のために存在して何をしなければならないのかという状態にあるかと思います。今一度、次年度段階に作った事業計画書を読み込んだ方が良いのかなと思います。先ほど、理事長からもありましたが拡大は成功していますが、会員の出席率は減少している。重野委員長をはじめ取り組んでいるがなぜ結果が出ないのか。そして盛田委員長の議案が進んでいない。今一度、自分の役割を確認して横の連携を強めて残り半年をおくらないとなんの成長もなく終わってしまうと思います。率直に感じたことを話しますと議案が煮詰まった段階で顧問や監事に相談にくるというのは、時間がないからこれで進めるという妥協になってしまいます。会員の大事なお金を使って大切な時間を使って会議をしてそこで決まったことは会員全体で動かなければいけない。そこの責任をもって持たないといけないと思う。組織は何も与えてくれない、何かを得たいのであれば自分で動かないといけないという意識が薄れていると思います。青年会議所はそれぞれの会員の行動力があるから魅力がある。正副がもっと導いて欲しいと思います。２３：００終了となっておりますので的確な意見を出して建設的な会として欲しいと思います。

協議事項３：２０１９年度８月通常総会計画書並びに予算（案）について

鈴吉　　：まず、先ほどと同様に作成日に誤りがあります。前回より会場が変更となっておりますので確認して頂けましたらと思います。前回意見より参加促進に拘って計画を構築しております。

重野　　：劇的な参加促進については出てこなかったのですが、出欠の見える化や電話連絡を徹底のうえ参加促進につなげたいと思っております。

竹下　　：出席率の見える化についてのメリットデメリットを教えてください。

重野　　：何かの機会で会った際に「行こうね」と会員間で声掛けが出来るメリットがあり、デメリットは思いつきません。

竹下　　：それは、何人中何人の答えですか？

重野　　：統計はとっておりません。

竹下　　：その様な調査の仕方や検証をしているから案が出てこないと思います。分析が出来てないから変わらない、次につながらないと思います。もっと検証して根拠をもって繋げないといけません。８月総会は次年度の１発目なのでもっと出席率に拘って欲しいと思います。

重野　　：８月総会が次年度のお披露目でもありますので、しっかりと作ってきたいと思います。

常盤　　：引き継ぎ事項のその他の部分で、開始時間について検討のうえ変更しなかった理由を教えてください。

重野　　：２割程度の方を除き、７時が妥当という意見が多かったからです。

常盤　　：全体を見ないといけないのですが、もっと踏み込んで対応を記載してください。

前田　　：委員長の中で、総会の重要性を教えてください。

重野　　：組織の重要案件を決議することです。

前田　　：例会と違う部分はなんですか？

重野　　：案件を決議する部分が違います。

前田　　：決議の重要性と言われるのですが、なぜ決議しないといけないのかというと総会を開催しないと運営ができない。組織を存続させるために総会が必要である、次年度に繋げていかないといけない。その様な意味で総会の重要性を会員に伝えないといけないのではないか、品格をもっていかないといけないのではないかと思います。極端な話、委任状を出したから良いではなく全員が参加しないと会の存続が危ぶまれるという意識を考えてもらえたらと思います。

重野　　：出席率に関しては品格の部分も踏まえて委員会に持ち帰らせて頂きたく思います。

藏元　　：意見出た通り、前回を検証したうえで工夫を考えてもらえたらと思います。参加する癖ではないですが、総会資料を手配りしろといえばやりますので、過去を含め検証して模索して頂けましたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度８月通常総会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項４：２０１９年度４月例会報告書並びに決算書について

田上　　：前回意見よりアンケートを実施し、集計の上報告書に反映しております。

盛田　　：アンケートより会員ニーズについて調査し、記載しております。

竹下　　：このアンケートは何の役にたつのですか？

盛田　　：イメージとしては会員がＪＣに求めるものと思っています。

竹下　　：結論はどうだったのですか？

盛田　　：ＪＣに求められているものとしては、例会のメインプログラムにあれば参加率の向上になるかと思っております。

竹下　　：そのニーズはなんだったのですか？

盛田　　：人脈を広げることでした。

竹下　　：４月例会のためのアンケートだと思いますが、そのニーズはなんのために調べたのですか？

盛田　　：前回、ご意見を頂いた出席率に拘った検証としてとらせて頂きました。

竹下　　：ニーズや調査は報告の時ではなく計画段階ですべきことで、それを基に事業を構築しないといけないと思います。この例会の悪いところや少数派の意見が反映されないと意味がないです。懇親会でも世間話だけではなく一言二言でも良いのでヒアリングをしっかりしないといけないです。近年アンケートに頼り過ぎていてヒアリングがされていない。もっと生の意見を聞いてください。

盛田　　：計画段階で調査出来ていませんでしたので、今の意見も踏まえ報告書を作成したいと思います。

藏元　　：顧問からアドバイスありました事を反映頂きまして、今行った調査を計画段階でするべきであると報告書に残して来年度以降に繋げて頂けましたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度４月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項５：２０１９年度９月例会計画書並びに予算書（案）について

鈴吉　　：本年度が２カ月前の審議としているなかで９月例会については、ひと月前の審議となります。確認日に関しましても他の議案と同様に確認日が間違っております。

竹下　　：初歩的な間違いに関して誰が確認するのですか？

鈴吉　　：副理事長である自分の責任です。申し訳ありません。

重野　　：背景目的に関しましては、定型のものとなっております。場所は市役所の野のいぶきを予定しております。市長の方をお招きのうえで食事をしたいと思っております。その他にも調査し、会員ニーズに合わせてゲストを予定しております。

東井上　：ニーズ調査をするという中で、市長をお招きする理由を教えてください。

重野　　：出席率があがりにくい中で、会員の関心をひくオブザーバーをお呼びしたいと思っております。

東井上　：市長をお招きすることは良いと思うのですが、この目的を達成できるとは思えませんので目的をもう少し精査されてはいかがでしょうか？

盛田　　：市長を呼ばれるということで興味深いところではあるのですが、失礼のないよう会員を集めて頂ければと思います。

重野　　：現在の困っている部分も相談しながら進めていければと思います。

南郷　　：予算書ですが、予算がかからないと思いますので０円に修正をお願いします。もう一点ですが参加促進のところに９０％と記載がありますが１００％でない理由を教えてください。

重野　　：１００％を目指すところではありますが、目指すと狙うという違いで９０％必達のつもりで計画をしております。段階を経て１２月総会までに１００％にもっていきたいと考えております。

常盤　　：過去や他の報告書を見たうえで取り入れられるものはすべて実施して欲しいと思います。

重野　　：はい、その様にさせて頂きたく思います。

田上　　：オブザーバー９名となっているのですが、各団体とはどこに声をかけるつもりでしょうか？

重野　　：ニーズ調査の上で教育委員会などを想定しております。

木野田　：双方の理解を深めるとあるのですが、首長訪問や新春懇談会があるなかで明確な内容があるのでしょうか？

重野　　：年始の挨拶もあるのですが、挨拶止まりになっているのではないかと思います。多くの会員が関係を深められる機会になればと思っております。

木野田　：明確にどの様なパートナーシップをとるのか等の準備があった方が良いと思います。

重野　　：議案に反映させたいと思います。

前田　　：例会のメインプログラムで晩餐会とあるのですが、それは例会ではないのではないでしょうか？

重野　　：メインプログラムが晩餐会です。

前田　　：もう一度、例会の意味を確認のうえで構築してください。これは、例会ではなく晩餐会だと思います。そこを履き違えてしまうと例会の意味がなくなってしまうかと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度９月例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

南郷：延長動議

セコンド　橋　板元

２３：３０までの延長となる。

協議事項６：２０１９年度５月例会報告書並びに決算書について

木野田　：１回目の上程となります。５月に開催しました例会についての報告になります。

板元　　：事前配信のうえでご意見を頂いた件についても修正しております。

竹下　　：この例会で検証の結果、引き継がなければいけないことはなんですか？

板元　　：１点思った部分は、シニアへの案内の仕方について記載させて頂いております。シニア事務局にＦＡＸを送ってもらったのですが、時期が遅れてしまいシニア会員へ情報伝達の遅れ参加人数が少なかったです。今年度中にシニア事務局と話し合いをしたうえで、次回は現役の方から送るようにできればと考えております。

竹下　　：それが１番重要ですか？

板元　　：あとは、会員の出席率が悪かった点だと思います。

竹下　　：シニア側の意見はどの様なものがありましたか？

板元　　：例会の中で、聞き取りをした結果は良かったと伺っております。

竹下　　：何が良かったのですか？

板元　　：久しぶりに現役の気持ちになれたとのことでした。

竹下　　：それは感想です。実際に自分も良かったと思っていますが、更に良いものになるために進化させるための報告書にしないといけないと思います。良かったなというところで終わらせると次が進化しないです。報告書が結果報告になっている。

板元　　：次に担当する方が、より良くできるように報告書を作ってきたいと思います。その中で、シニア会員への情報伝達方法を記載したところでした。

東井上　：新春賀詞懇談会に来ないシニアの先輩も参加していたと思いますので、その様な方に聞き取りしても良いかと思います。

常盤　　：自分も含め歴の長い会員は個人的に何が良かったのか、今後どうしたらいいかを聞いていますので、会員の方へも聞き取りをしても良いと思います。

板元　　：実行させて頂きたいと思います。

藏元　　：はじめての合同例会である中で、先輩が来年も開催したいという意見があるから継続するということでは意味がないと思いますので、精査してもらえたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度５月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項７：２０１９年度１０月例会計画書並びに予算（案）について

木野田　：１０月例会になります。正副の指摘は対応しております。

板元　　：通常の例会を１０月１４日月曜日の祝日に行います。１０月と言えば何かを委員会のほうで検討し、例会終了後に運動会を計画させて頂きました。場所は鎌田建設の体育館で計画をさせて頂きました。

竹下　　：日程設定の根拠は何ですか？

板元　　：当初２０日で予定していたのですが、霧恋というイベントとブッキングしていたので１４日にさせて頂きました。１４日については、他のイベント等を調べさせて頂いております。祝日に関しては、子供にも来て欲しいと思い祝日に設定しております。

竹下　　：忙しい１０月にわざわざ運動会をする意味があるのですか？例会でする意味はないと思います。日程の検討をお願いします。

鈴吉　　：前回、委員会で検討しているところも拝見したのでやりたい気持ちはわかるのですが、日程も含め調査したうえで１４日なのか定例なのか考えられてみてはいかがでしょうか？

板元　　：その様にさせて頂きたいと思います。

南郷　　：保険料が記載されているのですが、例会後に実施するものなので保険料は削除して頂けましたらと思います。

竹下　　：削除したら保険はどうなるのですか？

板元　　：懇親会の登録費から捻出できるようにしたいと思います。

竹下　　：余ったお金はどうするのですか？

板元　　：参加する人数を割って懇親会費に追加したいと思います。

前田(大)：名目が違うので、運動会に参加料等で検討してください。副理事長の方、指導をお願いします。予算組については持ち帰ってください。

前田　　：１０月でやりたい気持ちはあると思うのですが、色々とご意見が出ているなかで真摯に受け止めて頂けましたらと思います。例会の参加促進の方法だと思うので先ほどから意見がある通り調査をしてください。拡大事業でする分は良いと思いますが、日程も全国大会に参加して帰ってきて朝からは少しタイトなのかなと思います。

藏元　　：調査のうえで、会員が良ければ実施でも良いと思いますので根拠をつけてもらえたらと思います。また、理事会で言われたからではなく違う形でメンバーの気持ちを汲んでもらえたらと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度１０月例会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項８：２０１９年度８月補正予算（案）について

前田(大)：通常であれば１発審議となりますが、現時点の補正予算の案として出させて頂きます。拡大が進んでいるので正会員費が増となっております。広告収益費が４０万ついておりましたが使わないので変更しています。事務局員さんの交通費については、手当なのか県に確認のうえで対応させて頂きたいと思います。

竹下　　：広報戦略の予算がついておりますが、議案は現在どうなっていますか？

木野田　：戦略議案の方は、ＳＮＳ等で実施しているなかで県と打ち合わせを実施しているところであります。

南郷　　：当初、広報誌での公益事業は難しいとのことでしたが、先週連絡がありまして広報誌でも広報事業に含まれるとのことで副理事長にも伝えておりますが日が浅いので、まだ中身が固まっていない状況かと思います。

竹下　　：１２月に広報誌を出しても今年の何ができるのでしょうか？

東井上　：補正を組まないといけないのではないでしょうか？すべて協賛で対応ですか？

前田(大)：すべてではありません。また、話をさせて頂きたいと思います。

前田(大)：以上で、２０１９年度８月補正予算（案）を閉じさせて頂きます。

監事講評

常盤　　：第６回理事会でしたが、例年になくピリピリした雰囲気でやれたのかなと思います。また多くのオブザーバー参加があるなかでしたが、今の理事役員も色々と言われながらも成長やまたやりたいという想いで２度３度と理事役員を経験している会員もいます。今日の雰囲気に臆するのではなく経験を積んで理事会の場に参加出来る様にしてもらえればと思います。議案の方は、研修事業が承認されました。本年度、初の事業になると思います。研修事業は、万人受けするものはないと思いますが、実施までに一人でも多くの人が何か持ち帰って頂けるように計画書を見ながら実施、それ以上のこともやってもらえましたらと思います。また例会の計画・報告とありました。顧問からも調査は計画段階でするものという意見がありましたが、その通りだと思いますので再度認識のうえで進めて頂けましたらと思います。全体としては、木野田副理事長がネーム・バッジをしていません。次年度の動きも出てきますので気を引き締めてもらえましたらと思います。また、理事長、直前、監事について、途中で議事録を止めないといけない様な意見交換がありました。経験を積んだ人間だからこそ意識をもって欲しいと思います。オブザーバーが見ている中で、ピリピリするなかでも秩序があるという部分を見せて欲しいと思います。タイトな時期となって参ります。体調に気を付けて残り半年、事業に向かって皆で頑張っていきましょう。

次回開催

令和元年　７月１６日　　第７回正副理事長会議

令和元年　７月３０日　　第７回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　鈴吉　美絵　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　隆太　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　常盤　大和　　　　　　　　　㊞